

2008年度
(平成20年度)

事業報告書



社団法人 日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階
TEL:03-5424-1121(代) FAX:03-5424-1126
<http://www.unesco.jp> [nfuj@unesco.or.jp](mailto:nfuaj@unesco.or.jp)

目次

2008年度事業報告	1
1 「平和の文化」実践活動	2
2 ユネスコ世界寺子屋運動	8
3 世界遺産・地域遺産活動	10
4 事業資金の拡大・充実	11
組織	12
会議	16

1. 「平和の文化」実践活動

「つなげよう平和の心」を合言葉に「民間ユネスコ運動の日」、「平和の鐘(かね・おと)を鳴らす運動」等、全国統一運動を継続、発展させた。全国大会、ブロック研究会、ユネスコ・ユースセミナー等、会員の研修機会を最大限活用し、ユネスコの理念や持続発展教育、ユネスコ・スクールの普及などに努めた。また、各地ユネスコ協会の活動を支援し、ユネスコ協会相互及び関係諸団体との交流を促進した。

アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)の会長に、松田昌士・日本ユネスコ協会連盟会長が選出された。今後、アジアのユネスコ運動との連携を一段と強化する。

2. ユネスコ世界寺子屋運動

国内においては、寺子屋学習・報告会、「書きそんじハガキ回収キャンペーン」、「ユネスコ運動 D-project『世界寺子屋運動』小中高校のプログラム」、ホームページでの最新情報の提供など、積極的な展開を図った。また、20周年に向けて、これまでの支援に関する評価について検討し、情報収集と調査準備を行った。

海外活動については、カンボジアを支援重点国とし、アフガニスタン、ネパールなどでの事業を充実させ、ラオスでの支援を開始した。また、政府開発援助ユネスコ活動費補助金(以下「ODA補助金」という。)の支援により、寺子屋運動関係者の日本研修を東京における全国大会の時期に併せて実施した。

また、「一杯のスプーン」によるアフガニスタン、ネパール等への無料診療所への医薬品・食糧支援を行った。

3. 世界遺産・地域遺産活動

顕著で普遍的な価値をもつ世界遺産についての周知を図ると共に、アジアの世界遺産の保護・保全を目的として、フィリピン、カンボジア等で協力事業を実施した。また、遺産保護活動を通じた相互理解の促進を図った。

身近な文化や自然を守る意識を高めるための活動として、「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展を実施する他、「世界遺産年報」の発刊、世界遺産・地域遺産の保護を考える勉強会等の開催、ホームページでの情報提供、地域草の根活動助成金事業の事例集作成などを行った。

地域遺産活動の一環として「未来遺産運動」を始動した。地域の宝物を地域に生活する人自らが見出し、守り育て、社会に活かすことで、日本の活力と誇りを創造していく。

4. 事業資金の拡大・充実

事業資金拡大の方策として、コンビニ募金を導入。新たな募金広報パンフレットも作成し、「書きそんじハガキ」の回収を強化した。企業とのタイアップは、大型のものとして三菱東京 UFJ ファイナンシャル・グループとの「守ろう地球のたからもの事業」を企画・実施したほか、中小規模のもの約 10 事業のタイアップが成立した。

1. 「平和の文化」実践活動

(1) 普及実践活動

第 64 回日本ユネスコ運動全国大会 in 東京

期間 2008 年 6 月 7 日～8 日

場所 めぐるパーシモンホール

主催 日本ユネスコ協会連盟、東京都ユネスコ連絡協議会、目黒ユネスコ協会

共催 東京都教育委員会、目黒区、目黒区教育委員会、目黒区芸術文化振興財団

全国のユネスコ会員が集い、交流し、民間ユネスコ運動への研鑽を積むために毎年実施。今大会のテーマは、「あなたが明日の地球を創る...失われた『勿体ない』の精神を再び...」民間ユネスコ運動に相応しい持続発展教育（ESD）活動について研鑽を深め地球温暖化の克服を始めとする持続可能な社会作りをテーマにした「国連・持続可能な開発のための教育の 10 年（UNDESD）」を取り上げ、日本人の知恵である「勿体ない」の精神に学びながら、希望ある明日の地球のために市民レベルで何ができるのかを考察した。また、2008 年 5 月 12 日に発生した中国四川省大地震の復興活動に対して募金を集め、中国ユネスコ協会連盟へ贈呈した。

「民間ユネスコ運動の日」

日本発祥のユネスコ運動をアピールするため、「民間ユネスコ運動の日」（7 月 19 日）を中心に、2008 年 7 月 19-21 日を全国一斉活動日、7 月 1 日-8 月 30 日を民間ユネスコ運動・夏のキャンペーン期間とし、「子どもたちの未来のために、今できることから」をテーマに、全国 96 ユネスコ協会がさまざまな活動を展開した。

「平和の鐘（かね・おと）を鳴らそう！」キャンペーン

「平和の文化国際年（2000 年）」、「世界の子どものための平和の文化と非暴力の国際 10 年（2001-2011 年）」の象徴的事業として 2008 年 8 月 15 日を中心に実施。全国各地の寺院・教会の鐘をならし、子どもたちが平和について改めて考えるきっかけを作った。

「平和の鳥 de 募金」

「平和の鳥 de 募金活動」は、2007 年度のコースセミナーで青年の発案により生まれた。2008 年は「世界寺子屋運動」及び「四川中国大地震被災者」への支援のために募金活動を行なった。「平和の鳥 de 募金活動」は、青年を中心に各地のユネスコ協会が、世代を超えて、国際協力の必要性の普及・広報、支援のための活動を促進する機会となった。

ブロック別ユネスコ活動研究会

民間ユネスコ活動振興のため、ユネスコ協会の会員を対象とした研究会を以下の通り実施した。

東北ブロック・ユネスコ活動研究会（秋田県秋田市）2008 年 7 月 13-14 日

中部東ブロック・ユネスコ活動研究会（山梨県甲府市）2008 年 9 月 20-21 日

中部西ブロック・ユネスコ活動研究会（福井県小浜市）2008 年 9 月 27-28 日

関東ブロック・ユネスコ活動研究会（群馬県高崎市）2008 年 10 月 11-12 日

北海道ブロック・ユネスコ活動研究会（北海道千歳市）2008年10月18-19日
近畿ブロック・ユネスコ活動研究会（兵庫県姫路市）2008年11月1-2日
四国ブロック・ユネスコ活動研究会（香川県高松市）2008年11月15-16日
九州ブロック・ユネスコ活動研究会（長崎県長崎市）2008年11月29-30日
中国ブロック・ユネスコ活動研究会（広島県尾道市）2009年2月14-15日

（2）青少年育成活動

ユネスコ・ユースセミナー

2008年11月22-24日、八王子セミナーハウスにおいて、ユネスコ協会の青年約60名が参加。テーマは「社会と自分とのつながり」。分科会では「私たちの生きる環境について考える」「ほっとけない貧困問題」「いま若者が求めていることって何だろう」の3つにわかれ、他のNGOで活躍中の講師を招いて、現代社会の問題を自分たちの中でどうとらえ、課題に対してどのように取り組んでいくかを真剣に話し合った。

ユネスコ運動ボランティア(通年)

民間ユネスコ運動の推進及び全国の青年活動のサポートを目的として、日ユ協連事務局で長期ボランティアを実施。今年度は第2期生として、青森県ユネスコ協会の楠美寛子が研修を受けた。

「守ろう地球のたからもの」(通年)

「国連・持続可能な開発のための教育の10年(UNDESD)」に基づき、全国の児童・生徒を対象に、三菱UFJフィナンシャル・グループ及び三菱UFJ環境財団の協力のもと以下の事業を行った。

- A) 7月に環境絵本「守ろう地球のたからもの サクラソウのひみつ」を完成。鷲谷いづみ氏(東京大学教授)監修、幸田シャーミン氏(環境ジャーナリスト、前国際連合広報センター所長)執筆。ユネスコ協会を通じて全国の幼稚園・小学校に対して約1000冊を無償で寄贈した。
- B) 第33回「みどりの絵」コンクールに参加。25,252点の応募作品の中から、最優秀賞9作品、優秀賞36作品、入選380作品が選ばれた。
- C) 国立大学法人宮城教育大学の協力のもと、環境教材『守ろう地球のたからもの～持続可能な社会をめざして～豊かな自然編』が2009年1月に完成。全国の小学校・中学校へ無償で寄贈中。
- D) 青森の白神山地周辺の国有林にて2回の植樹活動を春、秋に実施し、2万本を植樹した。

UNESCO・青年交流信託基金スタディツアー

ユネスコ協会推薦の高校生18名がカンボジアスタディツアー(2009年3月27日～4月5日)に参加した。世界遺産「アンコール」、ポルポト内戦時代の施設、日ユ協連カンボジア事務所、世界寺子屋運動アンコールCLCプロジェクト等を訪問し、カンボジアの高校生・大学生らと交流しながら、カンボジアの歴史や社会に対する理解を深めた。

第40回ユネスコ子どもキャンプ

主催 日本ユネスコ協会連盟、岐阜県ユネスコ協会

2008年8月6-9日、岐阜市少年自然の家で小学4年～中学3年生98名と青年スタッフ60名参加のもとで実施。集団生活を通じて自主自立と自然愛護の精神と国際理解と相互協力の大切さを学んだ。

青年が参加する活動への助成

A) 青年層が参加する地域ユネスコ協会主催事業へ草の根助成金などを通じて助成した。

B) 青年活動振興意見交換会を以下の通り開催した。

2009年1月18日 (恵比寿社会教育会館)

2009年3月7日 (日本ユネスコ協会連盟事務局)

(3) 組織の拡大とユネスコ活動の充実

ユネスコ協会設立の勧誘と支援(通年)

新たに以下のユネスコ協会が設立された。

豊橋ユネスコ協会(愛知県)	第455回理事会(2008年5月10日)承認
蓮田・白岡地方ユネスコ協会(埼玉県)	第455回理事会(2008年5月10日)承認
秩父ユネスコ協会(埼玉県)	第455回理事会(2008年5月10日)承認
紀北町ユネスコ協会(三重県)	第458回理事会(2008年11月14日)承認
知床ユネスコ協会(北海道)	第459回理事会(2009年1月17日)承認
飛鳥・橿原ユネスコ協会(奈良県)	第459回理事会(2009年1月17日)承認

ユネスコ地域草の根活動振興助成(通年)

地域に根付いたユネスコ協会を目指して、地域の社会貢献団体及びユネスコ協会の諸活動に対する助成。NTTグループのご協力により、第1期募集で22ユ協26件、第2期募集で22協会24件、第3期募集で16協会17件の助成を決定した。

ユネスコ運動推進員研修(第2期)

6ユネスコ協会の会員15名が参加。約1年4カ月の研修を通じて民間ユネスコ運動のリーダーとなるべく研修中。2008年9月11-15日にカンボジアで世界寺子屋運動及び世界遺産活動の支援事業、世界遺産アンコールなどを視察し、国際交流や平和について話し合った。修了者は「ユネスコ運動推進員」として、所属ユネスコ協会を基盤に地域や学校で積極的に活躍する。

都道府県ユネスコ連絡協議会、ユネスコ協会、新設ユネスコ協会への活動助成

A) 地域の民間ユネスコ運動振興のため、講師・指導者を派遣、斡旋した。

B) 「構成団体会員に関する規程」に基づき、都道府県内単位ユネスコ協会の活動振興のために各連絡協議会に助成金を交付した。

C) 新設ユネスコ協会にユネスコ旗、新個人会員には会員バッジ等を贈呈した。

D) ユネスコ協会活動を行う全国の青年(高校生、大学生を含む)を支援した。

公益法人制度改革に伴う認可申請の準備作業

公益法人改革関連法案に基づき、公益社団法人の認定申請のため、定款及び諸規程の変更の作業を進めた。

(4) 海外との連携

アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟 (AFUCA) の活動の振興 (通年)

- A) 第 18 回 AFUCA 執行委員会(2008 年 8 月、ロシア・エカテリンブルグで開催)に野口昇理事長及び日ユ協連職員を派遣した。松田昌士会長が アジア連盟会長に選ばれた。
- B) AFUCA 事務局として域内ユネスコ協会・クラブ活動の振興に協力した。
- C) 韓国ユネスコ運動全国大会に日ユ協連代表者を派遣した。

世界ユネスコ協会クラブ連盟 (WFUCA) への協力 (通年)

世界連盟執行委員会 (2008 年 8 月、ロシア・エカテリンブルグで開催) に野口昇理事長及び日ユ協連職員を派遣した。

三菱アジア子供絵日記フェスタの共催 (通年)

主催 三菱広報委員会、アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟、日本ユネスコ協会連盟
国際識字年 (1990 年) を記念し、1990 年から相互の文化や生活に触れ、理解を深めることを目的に開催。第 9 回フェスタ (2008 年 ~ 2009 年) では、新たにカザフスタン共和国が加わり、アジア 24 の国・地域の子どもたちが描く絵日記を募集した。2009 年 4 月に平山郁夫ユネスコ親善大使を委員長とする国際選考会を開催し、グランプリ授賞者を同年 7 月にベトナム社会主義共和国・ハノイで開催する授賞式へ招待する。

UNESCO との連携

- A) 民間ユネスコ運動の振興と促進のため、UNESCO と緊密に情報を交換し人的交流を行った。
- B) 東アジア子ども芸術祭
UNESCO が主催する東アジア子ども芸術祭 (2008 年 7 月 24 日 ~ 27 日) に、日本ユネスコ国内委員会から要請を受けて、大韓民国・光州広域市に沖縄県ユネスコ協会推薦の沖縄県立南風原高等学校が派遣され、琉球芸能を披露した。
- C) 途上国大学・UNESCO 講座事業
日本企業の寄付を得て発展途上国の大学に講座を開設し、途上国における学生の技術研究の向上に寄与した。UNESCO 共催。
- D) UNESCO 芸術賞基金の管理・運営
当芸術賞を実施する UNESCO 文化局より、賞の内容を大幅に変更したい旨の連絡があり、これに対して連盟よりの対案を提示した。2009 年 3 月現在文化局からの回答を待っており、内容に応じて 2009 年度中に基金の執行を行う予定である。

(5) 普及広報活動

持続発展教育（ESD）の普及（通年）

文部科学省の日本／ユネスコ・パートナーシップ事業の委託を受け、ユネスコ・スクール研修会を以下の日程で実施した。また、本研修会にあわせて研修用テキストを作成した。

2009年1月11日（日）	奈良ユネスコ・スクール研修会	約300名参加
2009年1月26日（月）	栃木ユネスコ・スクール研修会	約100名参加
2009年1月27日（火）	群馬ユネスコ・スクール研修会	約150名参加
2009年2月5日（木）	三重ユネスコ・スクール研修会	約100名参加
2009年2月6日（金）	岩手ユネスコ・スクール研修会	約150名参加

英語版「民間ユネスコ運動60年史」発刊

2007年度発行した「民間ユネスコ運動60年史」をもとに、英語版“Non-governmental UNESCO Movement in Japan 1947-2007”を編集発行し、WEB上で公開した。

機関誌「ユネスコ」の発行（奇数月1日、年間6回発行）

民間ユネスコ運動の普及広報のため機関誌「ユネスコ」を以下の通り発行した。

機関誌「ユネスコ2008年5月号 vol.1115」	2008年5月1日発行
機関誌「ユネスコ2008年7月号 vol.1116」	2008年7月1日発行
機関誌「ユネスコ2008年9月号 vol.1117」	2008年9月1日発行
機関誌「ユネスコ2008年11月号 vol.1118」	2008年11月1日発行
機関誌「ユネスコ2009年1月号 vol.1119」	2009年1月1日発行
機関誌「ユネスコ2009年3月号 vol.1120」	2009年3月1日発行

日ユ協連紹介パンフレット（24頁P7）の改定、配布等

日ユ協連のユネスコ協会のリスト等を含め、最新情報に沿って一部改定し発行した。

国際協力レポート

「寺子屋レポート」の名称を「国際協力レポート」に変更し、「ユネスコ世界寺子屋運動」、「世界遺産活動」、「一杯のスプーン」を通じた協力内容を国ごとにまとめたフルカラーの報告書（全28ページ）を2008年6月の全国大会に併せて発行し、協力者に配布・送付した。

広報ツールの強化

- A) 日ユ協連ホームページの内容充実をはかった。
- B) 新聞雑誌、広告、動画配信などを積極的に活用し民間ユネスコ運動を広報した。
- C) 民間ユネスコ運動の普及広報のためユネスコ情報マガジンを通巻97号～117号まで計21回発行した。
- D) 民間ユネスコ運動の広報と啓発のためにビデオやパネルの貸出。
当協会連盟の活動を紹介するパンフレットをはじめ、ポスター、パネル、ビデオ等を必要に応じて制作し、希望する全国の学校や団体等に貸出した。

日ユ協連との共催・後援事業に対する申入れへの協力

当協会連盟の運動方針に鑑み、共催・後援事業に相応しいと考えられる企業の社会貢献的
事業などに協力した。

第 79 回都市対抗野球大会で日本ユネスコ協会連盟会長賞を授与

2008 年 9 月 9 日に東京ドームで行われた第 79 回都市対抗野球大会で優勝した新日本石油
ENEOS（横浜市代表）に対して日本ユネスコ協会連盟会長賞を贈呈した。

「パレスチナ・ガザ情勢に関するアピール」

「パレスチナ・ガザ情勢に関するアピール」を第 459 回理事会（2009 年 1 月 17 日）で採
択し、当協会連盟ホームページに掲載した。

2. ユネスコ世界寺子屋運動

(1) 世界寺子屋支援活動 (通年)

カンボジア (アンコール寺子屋プロジェクト)

日ユ協連カンボジア事務所を拠点とし、教育省などと連携をとりながら、子ども、成人を対象とした識字教育、技術訓練及び収入向上プログラムを実施している。既存の3軒の寺子屋に加えて新たに2地域クロライン郡センソックコミュニティとソニコム郡タヤックコミュニティにアプサラ機構(アンコール地域遺跡整備機構)の協力を得ながら寺子屋の建設、寺子屋運営委員会の設立、寺子屋運営基礎講習会を実施した。また、一層の識字教育支援を展開するため、教育省と共同で州内20地域で識字クラスの運営支援を開始した。

アフガニスタン (アフガニスタン寺子屋プロジェクト)

日ユ協連カブール事務所を拠点とし、アフガニスタン教育省識字局などの協力を得て子ども、成人を対象とした寺子屋活動を実施した。チャラシアブ郡タンギサイダン地区に新しい寺子屋が完成し、バーミヤン県では625名が寺子屋での学習を通して識字者になった。2008年12月にはカブール事務所現地職員2名が来日し、広島での原爆資料館訪問、渋谷駅前での街頭募金活動への参加などを通して、民間ユネスコ活動や寺子屋運動への理解を深めるための研修を行った。また、全国4ヵ所で「世界寺子屋運動・アフガニスタン報告会」を開催し、協力者へ進捗状況を報告した。

ネパール (ルンビニ寺子屋プロジェクト)

世界遺産の地ルンビニ周辺で展開する既存6軒の寺子屋を強化し、新たに6村で寺子屋プログラムを実施した。寺子屋を通じて、子どもを対象の識字教育、村人の収入向上プログラム、共同貯蓄・小口融資プログラムが提供された。新しい6村のうち、2村で寺子屋の建物が完成しており、残り4村での寺子屋建設準備が進んでいる。2008年9月に現地視察を行った。

インド (ゴカック寺子屋プロジェクト)

5ヵ年事業のフォローアップとして、既存寺子屋の自立運営を目指すための支援を行った。各寺子屋が独自の銀行口座を開設し、カルナータカ州政府を初め公的組織等からの補助金をより受け易くするため、カルナータカ州政府への団体申請手続きを実施し、21の寺子屋が申請を行うなど、自立への途を辿っている。また引き続き、退学した子どもなどへの補習事業や、女性が主体となったセルフヘルプグループの形成を支援した。

ラオス (ルアンパバン寺子屋プロジェクト)

貧困と識字率の低さが深刻なルアンパバン県内4地区8村で、国のモデルとなる寺子屋設立を目指し、主に人材育成に重点を置いた。2008年11月にはラオス教育省のプロジェクト主格メンバーを対象に、ベトナムで参加型研修の企画と実施方法についての研修を行った。それぞれの村において、人びとのニーズや資源を活かした寺子屋プログラムが立案され、建設・修復作業が進められている寺子屋の完成を待つばかりとなった。

世界寺子屋運動研修活動

ODA 補助金により、カンボジア、ラオス、インドから世界寺子屋運動のパートナーを日本ユネスコ運動全国大会にあわせて 2008 年 5 月 29 日～6 月 12 日の間日本に招聘し、「地域力の育成」「持続可能な開発」をテーマに研修活動を行った。また、フォローアップ現地研修をカンボジアで 2009 年 3 月 1 日～7 日に実施した。

NHK「日本賞・日本ユネスコ協会連盟賞」の授与

2008 年 10 月 28 日に開催された日本賞授与式（NHK 主催）で、途上国の識字教育を促進する優れた番組企画に選ばれたネパール・テレビジョン企画の「ほら見て、わたしの手」に対し「日本ユネスコ協会連盟賞」を授与した。

(2) 世界寺子屋運動の広報及び募金促進活動

書きそんじハガキ回収キャンペーン(2008 年 11 月～2009 年 3 月)

年末年始を中心に各地ユネスコ協会と共催で書きそんじハガキの回収キャンペーンを実施。広報ツールをユネスコ協会や協力者の要望に応じて配布すると同時に、2008 年度は新たに維持会員企業にも協力を呼びかけた。

「ユネスコ運動 D-project 『世界寺子屋運動』小・中・高学びのプログラム」

小・中・高等学校の児童・生徒が「ユネスコ世界寺子屋運動」について学び、書きそんじハガキ回収を呼びかけるリーフレットをコンピューターを用いて制作するプログラム。各地ユネスコ協会と連携し、全国の小・中・高等学校 27 校が参加。WEB コンテストの結果、2009 年度の書きそんじハガキキャンペーン用リーフレットの素案として採用される「日本ユネスコ協会連盟賞」には三重県暁学園暁小学校の作品が選ばれた。

(3) 世界寺子屋運動 20 周年記念事業への調査、準備（通年）

世界寺子屋運動 20 周年記念事業を 2009 年度に実施するため、世界寺子屋運動 20 周年委員会を 2 度に亘り開催し、事業内容の検討を行った。また、2005 年に終了したベトナムでの寺子屋事業の事後評価調査を実施した。

(4) 「一杯のスプーン」支援活動（通年）

発展途上国の貧困や飢餓、教育などの課題に、現地と日本の市民とが「共に協力して」取り組む事業。アフガニスタンのカブール市内 JIFF 病院への医療支援、及びネパールのルンビニ寺子屋プロジェクトの対象地域で医療・食糧支援を実施した。

(5) 被災地への緊急援助

2008 年 5 月に中国・四川省にて発生した大地震に対して、6 月の全国大会で集まった募金及び各地のユネスコ協会等からの募金に、国際協力準備金である「被災地への緊急援助金」を拠出し、2008 年 9 月に北京市ユネスコ協会に贈呈した。

3. 世界遺産・地域遺産活動

(1) 世界遺産・地域遺産支援活動 (通年)

フィリピン・(イフガオの伝統的知識継承プロジェクト)

危機遺産に登録されたイフガオ州の世界遺産を守るため、第1フェーズ、第2フェーズでは棚田の伝統的な技術を保持しているムンバキと呼ばれる知識継承者が持つ無形の知識と技術をデータベースに保存し、学校での授業を通じて次世代に継承する枠組みを構築した。第3フェーズでは、カウンターパートがこれまでのNGOから州政府に移行し、公教育におけるカリキュラム作りを中心に内容構築を行った。地元のイフガオ国立大学では、農業や森林管理、伝統的家屋作りなどをテーマとする教材がデザイン化され、小・中学校へのカリキュラムの導入に向けた準備が進んでいる。

カンボジア(アンコール・文化教育プロジェクト)

カンボジアのアプサラ機構(アンコール地域遺跡整備機構) 教育省と共催で子どもたちにクメール文化を伝えるため、ぬり絵を中心とした教材及び教員用の指導マニュアルを制作した。今後、シエムリアップ州内25の小学校の3年生～5年生を対象に9150セットの配付計画を策定している。

アフガニスタン(パーミヤン遺跡文化プロジェクト)

パーミヤンでの文化事業を進展させる予定であったが、アフガニスタンの治安状況が不安定さを増してきたため、専門家などの派遣が困難となり断念した。

植樹プロジェクト(青森県)

(株)レインボー・ジャパンの協力を得て、地域遺産事業の一環として、2008年6月に白神山系岩木山へ3100本の植樹を行った。これらの活動を通じ、地域の自然を大切にすることを育むと同時に、環境への意識啓発を行い、持続発展教育(ESD)に寄与した。

世界遺産認定証のレプリカ制作

日本からUNESCO世界遺産センターに申請していた「平泉の文化遺産」は、第32回世界遺産委員会(2008年7月、カナダ・ケベックシティ於)にて登録延期の評価を受けたため、世界遺産認定書のレプリカ制作は行わなかった。

(2) 世界遺産・地域遺産活動の広報及び募金の促進

世界遺産年報の発行・配布

財団法人日本宝くじ協会の助成を得て、世界遺産条約の理念の普及、世界遺産に関する情報の提供を目的とした「世界遺産年報2009 No.14」、特集は「国境を越える世界遺産」を2008年12月に発行し、国公立図書館、大学附属図書館、教育委員会等に贈呈した。

世界遺産劇場の開催

主催 世界遺産劇場実行委員会、朝日新聞社ほか

協賛 楽天株式会社 特別協力 日本ユネスコ協会連盟ほか

場所 白川郷(2008年5月16日～17日)、日光東照宮(2008年10月3日～4日)

内容 UNESCO 創設 60 年及び民間ユネスコ運動誕生 60 年を記念して、2008 年で 3 年目。世界遺産登録地で「世界遺産劇場」を開催。日ユ協連支援プロジェクトとして、収益の一部が日ユ協に寄付された。

地域遺産活動（通年）

国内の世界遺産登録地にあるユネスコ協会が、地元の世界遺産の保護に協力するための情報収集を行った。

広報及び募金促進の活動（通年）

世界遺産・地域遺産活動の内容を紹介するパンフレットなど広報ツールを制作し、ユネスコ協会及び広く一般の広報及び募金に役立てた。

第 11 回「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展（通年）

次世代を担う子どもたちが有形・無形の身近な自然や文化に目を向け、それらを大切に思う気持ちを育むことを目的に 1998 年より開催している。2008 年度は 80 のユネスコ協会が参加し、地域の小・中学校から約 3 万点に及ぶ作品の応募があった。参加ユネスコ協会では審査会が行われ、表彰式が行われた。全国表彰式は 2009 年 3 月 30 日に東京で開催した。

4．事業資金の拡大・充実

民間ユネスコ運動の発展を期して、新たな募金方法としてコンビニに募金を導入した。そのほか、企業とのタイアップ事業と“書きそんじハガキ”回収に力を入れた。

(1) 財務の強化

募金総額の増加

2008 年 8 月からコンビニエンス・ストアで募金・寄付金の払い込みシステムを開始した。

(2) 企業とのタイアップ（協力）事業の推進

企業とのタイアップは、社会貢献事業の実施と財源の確保を同時に実現できる有力な方式である。大型のタイアップとしては、三菱東京UFJフィナンシャル・グループとの「守ろう地球のたからもの事業」、楽天株式会社とのユネスコ NGO チャリティ・ナイター（雨天のため試合中止）が企画・実施された。この他、中小規模のもの約 10 事業のタイアップが成立した。

組 織

1. 理事 (22) (五十音順)

会 長	松田 昌士 (東日本旅客鉄道(株)相談役)	非常勤	<維持>
副 会 長	平山 郁夫 (ユネスコ親善大使、(財)文化財保護・芸術研究 助成財団理事長)	非常勤	<会委>
	加藤 玲子 (NPO法人目黒ユネスコ協会会長)	非常勤	<会委>
理 事 長	野口 昇 (文京学院大学副学長・教授)	非常勤	<個人>
理 事	朝倉 紘治 (杉並ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	石井 清 (柏ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	今井琉璃男 (松山ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	岡宮 照行 (長野ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	北川 建次 (広島ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	佐藤 國雄 ((財)ユネスコ・アジア文化センター理事長)	非常勤	<会委>
	鈴木 幹夫 (日本放送協会元理事)	非常勤	<個人>
	関口 昭平 (函館ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	田川 清 ((医)幸医会理事長、名古屋ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	田中 弘允 (鹿児島ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	千葉 杲弘 (国際基督教大学COE客員教授)	非常勤	<個人>
	東嶋 未起 (盛岡ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	滑川 修 (三菱商事(株)社会・環境室長)	非常勤	<維持>
	西村 幸夫 (東京大学教授)	非常勤	<個人>
	樋口 達夫 (大塚ホールディングス株式会社代表取締役社長兼CEO)	非常勤	<会委>
	松代 隆子 (株)電通ホールディングス人事部総務・プロジェクトマネージャー)	非常勤	<維持>
	森田 嘉一 (京都ユネスコ協会会長)	非常勤	<構成>
	米田 伸次 (帝塚山学院大学国際理解研究所顧問)	非常勤	<賛助>

(注1) <構成> : 構成団体会員代表、<賛助> : 賛助団体会員代表、<個人> : 個人会員代表、
<維持> : 維持会員代表、<会委> : 会長委嘱

2. 監事 (3)

伊藤 巧 (あいおい損害保険(株)常務役員)	非常勤
大瀧 太市 (朝日実業(株)元社長)	非常勤
二瓶 和敏 (二瓶総合法律事務所、弁護士)	非常勤

3. 顧問 (13)

恩村 恭平	糟谷 勝一	児島 仁	曾我 貞子	堤 清二
中村 秀子	濱中昭一郎	平賀 孝	福原 義春	松浦晃一郎
村井 了	村田 昌志	E.H. Rose		

4. 評議員数

会員種別	2008年度末	定員
構成団体会員	90	90以内
賛助団体会員	6	10以内
		(但し会員総数：23の「3分の1以内」のため実数は7以内)
個人会員	40	40以内
維持会員	14	30以内
計	150	150以内

5. 会員数

会員種別	2007年度末	減	増	2008年度末
構成団体会員	271	7	6	270
賛助団体会員	20	1	0	19
個人・終身個人会員	339	16	9	332
維持会員	219	14	4	209
計	849	38	19	830

休会会員を除く。

6. 会員の異動

構成団体会員

< 入会 >

豊橋ユネスコ協会(愛知県)、蓮田・白岡地方ユネスコ協会(埼玉県)、秩父ユネスコ協会(埼玉県)
2008年6月7日第456回理事会承認
紀北町ユネスコ協会(三重県)
2008年11月14日第458回理事会承認
知床ユネスコ協会(北海道)、飛鳥・檀原ユネスコ協会(奈良県)
2009年1月17日第459回理事会承認

< 退会 >

印西ユネスコ協会
2008年6月7日第456回理事会承認
宮崎ユネスコ協会、宮崎県ユネスコ協会連盟
2008年9月20日第457回理事会承認
朝来ユネスコ協会
2009年1月17日第459回理事会承認
小山ユネスコ協会
2009年3月6日第460回理事会承認

< 休会 >

府中ユネスコ協会
2008年9月20日第457回理事会承認
山田ユネスコ協会
2009年1月17日第459回理事会承認

維持会員

< 入会 >

近畿日本ツーリスト株式会社東京団体旅行支店、株式会社クラウンクリエイティブ	2008年11月14日第458回理事会承認
大塚ホールディングス株式会社	2009年1月17日第459回理事会承認
株式会社ワビサビエンターテイメント	2009年3月6日第460回理事会承認

< 退会 >

ウッドランド株式会社、日新建物株式会社、株式会社理想ベック	2008年6月7日第456回理事会承認
株式会社カジインターナショナル、新日本有限責任監査法人、第一屋製パン株式会社、東京書籍印刷株式会社、日本蓄電器工業株式会社、富国生命保険相互会社、株式会社みずほフィナンシャル・グループ、株式会社マルチサービス	2008年9月20日第457回理事会承認
株式会社アーバンコミュニティ	2008年11月14日第458回理事会承認
日立電線株式会社、富士通テン株式会社	2009年3月6日第460回理事会承認

終身個人会員

< 入会 >

野口 昇	2009年3月6日第460回理事会承認
------	---------------------

個人会員

< 入会 >

青木 優子、桜井 和子、鈴木 律	2008年6月7日第456回理事会承認
黛 まどか	2008年9月20日第457回理事会承認
泉 佳保子	2009年1月17日第459回理事会承認
岡崎 裕、要石 博之、佐藤 康夫(きのはち)、和田 一夫	2009年3月6日第460回理事会承認

< 退会 >

上別府 隆男	2008年6月7日第456回理事会承認
岩本 雅子、大塚 守義、大西 仁、河合 敏子、戸部 治男、松井 和夫	2008年9月20日第457回理事会承認
山崎 静光、増田 晴代	2008年11月14日第458回理事会承認
サイ ヒロコ、佐藤 雄一、目黒 正守	2009年3月6日第460回理事会承認

< 物故 >

遠山 美知、宮本 肇、湯木 昭二郎	2008年6月7日第456回理事会承認
日下 裕宣	2008年9月20日第457回理事会承認

賛助団体会員

< 退会 >

全国高等学校ユネスコ活動指導者協議会

2008年11月14日第458回理事会承認

7. 地域的なユネスコ活動の領域を代表する日本ユネスコ国内委員会委員(日本ユネスコ協会連盟関係) (2008年3月31日現在)

北海道	立野 了子 (室蘭ユネスコ協会会長)
東北	引地瑠美子 (白石ユネスコ協会会長)
関東	吉崎 晴子 (市川市ユネスコ協会事務局長)
中部東	森井 曠雄 (鎌倉ユネスコ協会理事長)
中部西	古田 暉彦 (富山ユネスコ協会会長)
近畿	大音 裕子 (川西ユネスコ協会会長)
中国	内藤 淳彦 (石見地区ユネスコ協会会長)
四国	笹川 重幸 (高松ユネスコ協会会長)
九州	仲筋 一夫 (沖縄県ユネスコ協会会長)
全国的連合組織	栗原 小巻 (女優、日本ユネスコ協会連盟スペシャル・アドバイザー)
全国的連合組織	西村 幸夫 (日本ユネスコ協会連盟理事)
全国的連合組織	野口 昇 (日本ユネスコ協会連盟理事長)

会 議

1 . 総会

第58回通常総会

日 時 2008年6月7日(土) 13:00~14:30
場 所 めぐるパーシモンホール 小ホール
東京都目黒区八雲1-1-1 めぐるキャンパス内

議 長 会長 松田昌士

出席者 構成団体会員 68名
維持会員 5名
個人会員 41名
賛助団体会員 2名
出席者計 116名
委任状 362通

議 題 1. 議事録署名人の選任について
2. 監事の選出について
3. 2007年度事業報告書(案)について
4. 2007年度収支計算書及び財務諸表(案)について
5. 2008年度事業計画書(案)について
6. 2008年度収支予算書(案)について

2 . 評議員会

第15回 評議員会

日 時 2008年5月10日(土) 13:15~15:30
場 所 大手町サンスカイルーム(A会議室)
東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル27階

議 長 会長 松田昌士

出席者 構成団体会員 44名
維持会員 5名
個人会員 22名
賛助団体会員 1名
出席者計 72名
委任状 44通

議 題 1. 第14回評議員会議事要録の承認
2. 2007年度事業報告書(案)・決算(案)について
3. 2008年度事業計画書(案)・予算(案)について

第16回評議員会

日 時 2008年11月17日(土)13:15~15:30
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)
議 長 副会長 加藤玲子
出席者 構成団体会員 36名
維持会員 0名
個人会員 19名
賛助団体会員 3名
出席者計 58名
委任状 59通

議 題 1. 第15回評議員会議事要録の承認
2. 2008年上半期主要事業報告について
3. 2009年度主要事業日程について
4. 公益法人制度改革について

第17回評議員会

日 時 2009年1月17日(土)13:15~15:30
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)
議 長 会長 松田昌士
出席者 構成団体会員 45名
維持会員 4名
個人会員 23名
賛助団体会員 3名
出席者計 75名
委任状 50通

議 題 1. 第16回評議員会議事要録の承認
2. 2009年度事業計画骨子(案)について
3. 公益法人制度改革について
4. ユネスコ・スクールについて

3. 理事会

第455回理事会

日 時 2008年5月10日(土)15:45~17:00
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(B会議室)
議 長 会長 松田昌士
出席者 15名
委任状 3通

議 題 . 第454回理事会議事要録の承認
. 協議事項
1. 会員の入退会について
2. 2007年度事業報告書(案)・決算(案)について
3. 2008年度事業計画書(案)・予算(案)について

・報告事項

1. 後援・共催事業について

第456回理事会

日 時 2008年6月7日(土) 10:00~12:20

場 所 めぐるパーシモンホール リハーサル室
東京都目黒区八雲1-1-1 めぐるキャンパス内

議 長 会長 松田昌士

出席者 14名

委任状 2通

議 題 ・ 第 455 回理事会議事要録の承認

・ 協議事項

1. 会員の入退会について
2. 2007年度事業報告書(案)について
3. 2007年度収支決算書及び財務諸表(案)について
4. 2008年度事業計画書(案)について
5. 2008年度収支決算書(案)について
6. 中国四川大地震並びにミャンマーサイクロンに関わる募金活動について
7. 選考委員会の設置について
8. 会員提出議案について

・ 報告事項

1. 後援・共催事業について

第 457 回理事会

日 時 2008年9月20日(土) 15:45~17:30

場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(B会議室)

議 長 副会長 加藤玲子

出席者 11名

委任状 7通

議 題 ・ 第 456 回理事会議事要録の承認

・ 協議事項

1. 会員の入退会について
2. 「第 65 回日本ユネスコ運動全国大会 in 横浜」について
3. 公益法人制度改革について
4. 就業規則等の改正について

・ 報告事項

1. 後援・共催事業について

第458回理事会

日 時 2008年11月14日(金) 15:00-17:00
場 所 東京都・ホテル メトロポリタン エドモント(千鳥)
議 長 会長 松田 昌士
出席者 14名
委任状 5通
議 題 . 第457回理事会議事要録の承認
. 協議事項
1. 会員の入退会について
2. 2009年度事業計画骨子(案)について
3. 給与規程(案)及び旅費規程(案)の改正について
4. 未来遺産(案)について
. 報告事項
1. 後援・共催事業について
2. 世界寺子屋運動20周年事業について
3. 2008年度上半期決算報告について

第459回理事会

日 時 2009年1月17日(土) 15:45~17:00
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(B会議室)
議 長 会長 松田 昌士
出席者 15名
委任状 6通
議 題 . 第458回理事会議事要録の承認
. 協議事項
1. 会員の入退会について
2. 2009年度事業計画骨子(案)について
3. 2009年度事業計画(案)について
4. 公益法人制度改革について
5. 就業規則(案)の改正について
6. ユネスコ・スクールについて
. 報告事項
1. 後援・共催事業について

第460回理事会

日 時 2009年3月6日(土) 15:45~17:00
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(B会議室)
議 長 会長 松田 昌士
出席者 14名
委任状 7通
議 題 . 前回議事要録の承認
. 協議事項

1. 会員の入退会について
 2. 2009年度事業計画(案)及び2009年度予算(案)について
 3. 定款及び諸規程の変更(案)について
 4. ユネスコ未来遺産について
 5. ユネスコ・世界寺子屋運動20周年関連事業について
 6. 役員・評議員改選及び「評議員予備推薦管理委員会」委員の委嘱について
- ・報告事項
1. 後援・共催事業について

4. 専門委員会（役職は就任当時。委員は五十音順）

公益社団法人移行特別委員会

委嘱事項	定款及び諸規程の変更、公益社団法人移行にともなう関連事項の審議	
委員長	松田 昌士	（日ユ協連会長、東日本旅客鉄道株式会社相談役）
副委員長	加藤 玲子	（日ユ協連副会長、目黒ユネスコ協会会長）
委員	野口 昇	（日ユ協連理事長）
	朝倉 紘治	（日ユ協連理事、杉並ユネスコ協会会長）
	石井 清	（日ユ協連理事、柏ユネスコ協会会長）
	鈴木 幹夫	（日ユ協連理事）
	田中 弘允	（日ユ協連理事、鹿児島ユネスコ協会会長）
	二瓶 和敏	（日ユ協連監事、二瓶総合法律事務所弁護士）
	的場 道子	（伊丹ユネスコ協会名誉会長）
	内田 眞朗	（日ユ協連事務局長）
オブザーバー	尾花 珠樹	（日ユ協連評議員）
開催日	(1) 2008年12月15日	
	(2) 2009年1月19日	
	(3) 2009年2月16日	
	(4) 2009年3月12日	
	(5) 2009年4月16日	
	(6) 2009年4月20日	

5. 各種検討会等（役職は就任当時。委員は五十音順）

組織活動検討会

- 委嘱事項 組織運営のあり方、及び会員資格の基準、会員の入退会などの審議
- 委員長 加藤 玲子（日ユ協連副会長、目黒ユネスコ協会会長）
- 委員 朝倉 紘治（日ユ協連理事、杉並ユネスコ協会会長）
石井 清（日ユ協連理事、柏ユネスコ協会会長）
田中 弘允（日ユ協連理事、鹿児島ユネスコ協会会長）
二瓶 和敏（日ユ協連監事、二瓶総合法律事務所弁護士）
的場 道子（日ユ協連評議員、伊丹ユネスコ協会会長）
- 開催日 (1) 2008年5月10日
(2) 2008年6月7日
(3) 2008年9月20日
(4) 2008年11月14日
(5) 2008年12月15日
(6) 2009年1月17日
(7) 2009年3月6日

「世界遺産年報」監修委員会

- 委嘱事項 「世界遺産年報」出版に関わる専門的立場からの監修、助言
- 委員長 西村幸夫（日ユ協連理事、東京大学大学院工学系研究科・工学部都市工学科教授）
- 委員 稲葉信子（筑波大学大学院人間総合学科学研究科教授）
岡田保良（国士舘大学教授・工学博士、イラク古代文化研究所・大学院グローバルアジア研究科/ICOMOS国際記念物遺跡会議執行委員）
工藤父母道（プロジェクト“ワールド・ヘリテッジ”総括）
矢野和之（株式会社文化財保存計画協会代表取締役）
- 編集調整 鈴木幹夫（日ユ協連理事）
- 開催日 (1) 2008年4月11日
(2) 2008年8月6日

地域草の根活動振興助成金審査会

- 委嘱事項 地域草の根活動振興助成金の申請事業について、申請書類をもとに助成交付の可否及び助成交付金額の決定
- 委員 石井 清（日ユ協連理事、柏ユネスコ協会会長）
田中 弘允（日ユ協連理事、鹿児島ユネスコ協会会長）
米田 伸次（日ユ協連理事、帝塚山学院大学国際理解研究所顧問）
- 開催日 (1) 2008年5月26日
(2) 2008年9月18日

世界寺子屋運動20周年委員会

- 委嘱事項 世界寺子屋運動20周年事業に係る企画・実施への助言
- 委員長 千葉 泉弘 (日ユ協連理事、国際基督教大学 COE 教授)
- 委員 稲葉 哲朗 (名古屋国際センター交流協力課主査)
- 久保田 穰 (横浜ユネスコ協会会長)
- 笹井 宏益 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部統括研究官)
- 柴尾 智子 ((財)ユネスコ・アジア文化センター教育協力課長)
- 田川 清 (日ユ協連理事、名古屋ユネスコ協会会長)
- 永田 佳之 (聖心女子大学文学部教育学科准教授)
- 牧野 健太郎 (日ユ協連個人会員、NHK プロモーションメディア事業本部部長)
- 松代 隆子 (日ユ協連理事、(株)電通ポレトセカー人事司理(株)ケイ・プロジェクトマネージャー)
- 開催日 (1) 2008年7月3日
- (2) 2008年10月23日
- (3) 2009年3月3日

公益社団法人移行準備会

- 委嘱事項 公益社団法人への移行及び手続き、定款変更について
- 委員 松田昌士 (日ユ協連会長、東日本旅客鉄道株式会社相談役)
- 加藤玲子 (日ユ協連副会長、目黒ユネスコ協会会長)
- 鈴木幹夫 (日ユ協連理事)
- 二瓶和敏 (日ユ協連監事、二瓶総合法律事務所弁護士)
- 開催日 (1) 2008年8月4日
- (2) 2008年9月3日
- (3) 2008年10月30日
- (4) 2008年11月13日